

令和5年6月8日

各 位

国際高等研究基幹

基幹長 中山 俊憲

「I A A Rセミナーシリーズ」(第2回)のご案内

国際高等研究基幹(I A A R)では、この4月から、総合大学としての特性を活かし、学内の研究者に、自身に取り組む最新の研究を紹介いただき、学びを深める「I A A Rセミナーシリーズ」を開催しております。

第2回目は、下記のとおり、本学大学院人文科学研究院の一川誠教授をお迎えし行います。

皆様におかれましては、ご多用中かとは存じますが、是非ご参加・ご視聴くださいますようお願い申し上げます。

記

【第2回】

1. 日 時 令和5年6月20日(火) 13:00~14:30
2. 場 所 オンライン開催
3. 講演者 一川 誠(大学院人文科学研究院・教授)
4. テーマ・概要

「ドキッ!」の瞬間、心的時間の流れはゆっくりになるのか? : 「タキサイキア現象」についての心理物理学的検討

交通事故などで強い恐怖感情が生じた際、目の前の自体がスローモーションのように展開しているように感じるという報告がしばしばなされる。これは「タキサイキア」と呼ばれる心的現象である。こうした「スローモーション知覚」が生じている時、視覚処理の時間的精度の上昇が生じていることが期待されてきた。ただし、大胆な方法でこの問題を検討した先行研究は、こうした「スローモーション知覚」は強い感情の喚起に基づく記憶の精緻化によるもので視覚処理の時間的精度の上昇は生じないと主張された。私たちの研究グループでは、より精確な測定が可能な心理物理学的な方法を用いて、感情や注意の喚起によって視覚処理の時間的精度が上昇するのか検討してきた。これまで

得られた実験では、強い感情や内発的注意の喚起によって、視覚処理の時間精度が向上することが示されてきている。最新の実験結果を紹介するとともに、その基礎にある過程や、こうした現象が持つ潜在的可能性について解説する。

5. 参加方法 オンラインのみ受付

(申請Webフォームより事前登録をお願いします。)

<https://forms.office.com/r/PZq1tuyzh4>



※ 本シリーズの開催は学内限り